

海軍公報 第二千八百十六號

大正十一年三月一日(水)

海軍大臣官房

○通牒

○三月一日午前十時開

官房第六七七號
(第) 大正十一年三月一日
練習艦隊（軍艦出雲、八雲）ト内地郵便局トノ間ニ交換致居候閉塞郵便ハ今般其ノ取扱ヲ廢止セラレ候追テ郵便物ハ佐世保へ發送ノコト

大正十一年三月一日

海軍省副官 松下 元

○辭令

第五部勤務ヲ命ス(第) 海軍艦政本部

海軍技手 宗勝一

第五部勤務ヲ命ス(第) 海軍艦政本部

海軍技手 杉生仲一

石川島
浦賀
大湊
國館
鴻鵠
松江
青島
筑前丸

吳
金剛、霧島、比叡、大井、球磨、多摩、扶桑、攝津、鞍馬、伊吹、淺間、平戸、駒橋、千代田、周防、千歲、大和、水無月、長月、菊月、日向、卯月、日潛一二、潛一〇、潛二一、日潛一三、

○艦船所在

海軍公報 第二千八百十六號

大正十一年三月一日

1579

○驅逐艦董行動豫定

三月一日 品川沖着
同 三日 品川沖發
同 八日 橫須賀發 品川沖着

○特務艦青島行動豫定

地名	着	發
横須賀	三月十一日	三月九日
神戶	十四日	十三日
舞鶴	二十二日	二十七日
佐世保	二十八日	二十五日
吳	四月三日	四月七日
舞鶴	九日	十二日
佐世保	十四日	十七日
吳		
横須賀		

○赴任

國際聯盟陸、海空軍問題常設諮詢委員會ニ於ケル帝國
海軍代表者隨員被仰付タル海軍中佐竹中徳太郎ハ來ル
三月十八日午後七時三十分東京驛發同二十一日神戸發
ノ香取丸ニラ赴任ノ豫定

○滯在地變更
海軍中佐伊藤完ハ吳ヨリ佐世保ヘ滯在地變更ノ儀二月
二十八日認許セラレタリ

海軍公報 第二千八百十七號

大正十一年三月二日(木)

海軍大臣官房

○通牒

官房第六九四號

大正十一年三月二日

海軍省副官 松下 元

艦隊、鎮守府、要港部參謀長(參謀)殿

汽船「トロール」漁業許可等ノ件

本件ニ關シ左記ノ通牒商務省水產局ヨリ通知アリタツ
右通牒ス

記

許可番號	第七六號	漁獲物陸揚港	下關、長崎
住 所	東京市麹町區有樂町一丁目一番地 明治漁業株式會社	許可期間	許可ノ日ヨリ拾箇年
氏名又ハ名稱	第八明治丸	制限又ハ條件	一、朝鮮總督府及臺灣總督府令ノ定ム ル「トロール」漁業ノ禁止區域ハ 之ヲ遵守スヘシ タルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス
船 名	東海及黃海	許可年月日	大正十一年二月二十二日
操業區域	【横須賀】 陸奥、木曾、山城、櫻名、生駒、朝日、 三笠、若宮、鳳翔、磐手、北上、阿蘇、富士、津輕、橋立、 武藏、千早、【澤風】、沖風、【堺風】、矢風、 【沙風】、夕風、太刀風、帆風、【秋風】、灘風、羽風、 島風、【夕立】、白露、夕霧、三日月、【春風】、初春、 初雪、【初霜】、神風、雲、如月、吹雪、有明、【追風】、	○艦船所在	▲印「ハセス」

尻矢(一月十八日横須賀發「タラカン」へ)
梯、栗、梅、櫻(一月十九日吳發廣島灣へ)

知床(一月二十三日新嘉坡發古倫母へ)
松山丸、泰安丸(一月二十三日横須賀發南洋へ)

佐多(一月二十七日「タラカン」發吳へ)
出雲(二月二十八日馬公發佐世保へ)

勞山(二月二十八日橫須賀發吳へ)
八雲(一日馬公發佐世保へ)

瀟州(一日函館發測量地へ)

○行動豫定變更
(本欄参照)

軍艦瀬洲ハ測量作業上ノ都合ニ依リ三月二十九日測量
地發同三十日横須賀着ノ豫定

○赴任

英國駐在仰付ラレタル海軍少佐高須四郎ハ來ル三月二十日東京驛發同二十一日神戶出港ノ香取丸ニテ赴任ノ豫定

○雜 款

○潛水艦進水
神戸三菱造船所ニ於テ建造ノ第四十七潛水艦三月二日
午前九時進水セリ

○司令艇變更

第二艇隊司令ハ本月一日司令艇ヲ雉ヨリ鴻ニ變更セリ

○郵便物發送先

特務艦野間宛
三月十三日迄到着見込ノモノハ
四月十二日迄 同

其ノ後ハ
横須賀山

海軍公報附錄

大正十一年三月二日(木)

海軍大臣官房

○雜款

第三門

○圖書

去ル二月中納庫セル圖書左ノ如シ(海軍省文庫)

和漢書ノ部

第一門

潮の華 川村庄助著 大正十

國際法關係法規 遠藤源六著 大正十一

日本の死活問題(ジエー、オーピー、ブランド原著 大正十一)

支那共和以後(青柳萬恒著 大正十)

現代社會批判(宇治田直義著 大正十一)

社會制度の諸研究(長谷川萬次郎著 大正十一)

社會極致論(佐野學著 大正十)

日本國體より見たる社會問題と現代思想(青年教育調査會編 大正十)

日本感想錄(伊賀駒吉郎著 大正十)

批判的 豊太閤朝鮮役 杉村勇次郎著 大正十一

靜岡縣史蹟名勝誌 靜岡縣屬編 大正十

委任統治南洋群島寫眞帖 海軍省編 大正十

滿蒙年鑑 滿蒙文化協會編 大正十一

波のうねり 水野慶徳著 大正十一

東京市及附近番地入地圖 丸善好文堂編 大正十
十三版

明教詩歌集(修業文庫第十編) 有馬祐政
共著 大正十

よく使はれる外國語の字引 高橋謙三著 大正十

言葉 第二卷 落合直文著 大正十

芳賀矢一改修 大正十

圖三一

圖三二

圖三三

圖三四

圖三五

圖三六

圖三七

圖三八

圖三九

圖三一〇

圖三一

圖三一

圖三一

圖三一

圖三一

圖三一

圖三一

圖三一

圖三一

第四門

第五門

第六門

第七門

第八門

第九門

第十門

第十一門

第十二門

第十三門

第十四門

第十五門

第十六門

第十七門

第十八門

第十九門

第二十門

第二十一門

第二十二門

第二十三門

第二十四門

第二十五門

第二十六門

第二十七門

第二十八門

第二十九門

第三十門

第三十一門

第三十二門

第三十三門

第三十四門

第三十五門

第三十六門

第三十七門

第三十八門

第三十九門

第四十門

第四十一門

第四十二門

第四十三門

第四十四門

第四十五門

第四十六門

第四十七門

第四十八門

第四十九門

第五十門

第五十一門

第五十二門

第五十三門

第五十四門

第五十五門

第五十六門

第五十七門

第五十八門

第五十九門

第六十門

第六十一門

第六十二門

第六十三門

第六十四門

第六十五門

第六十六門

第六十七門

第六十八門

第六十九門

第七十門

第七十一門

第七十二門

第七十三門

第七十四門

第七十五門

第七十六門

第七十七門

第七十八門

第七十九門

第八十門

第八十一門

第八十二門

第八十三門

第八十四門

第八十五門

第八十六門

第八十七門

第八十八門

第八十九門

第九十門

第九十一門

第九十二門

第九十三門

第九十四門

第九十五門

第九十六門

第九十七門

第九十八門

第九十九門

第一百門

第一百一門

第一百二門

第一百三門

第一百四門

第一百五門

第一百六門

第一百七門

第一百八門

第一百九門

第一百十門

第一百十一門

第一百十二門

第一百十三門

第一百十四門

第一百十五門

第一百十六門

第一百十七門

第一百十八門

第一百十九門

第一百二十門

第一百二十一門

第一百二十二門

第一百二十三門

第一百二十四門

第一百二十五門

第一百二十六門

第一百二十七門

第一百二十八門

第一百二十九門

第一百三十門

第一百三十一門

第一百三十二門

第一百三十三門

第一百三十四門

第一百三十五門

第一百三十六門

第一百三十七門

第一百三十八門

第一百三十九門

第一百四十門

第一百四十一門

第一百四十二門

第一百四十三門

第一百四十四門

第一百四十五門

第一百四十六門

第一百四十七門

第一百四十八門

第一百四十九門

第一百五十門

第一百五十一門

第一百五十二門

第一百五十三門

第一百五十四門

第一百五十五門

第一百五十六門

第一百五十七門

第一百五十八門

第一百五十九門

第一百六十門

第一百六十一門

第一百六十二門

第一百六十三門

第一百六十四門

第一百六十五門

第一百六十六門

第一百六十七門

第一百六十八門

第一百六十九門

第一百七十門

第一百七十一門

第一百七十二門

第一百七十三門

第一百七十四門

第一百七十五門

第一百七十六門

第一百七十七門

第一百七十八門

第一百七十九門

第一百八十門

第一百八十一門

第一百八十二門

第一百八十三門

第一百八十四門

第一百八十五門

第一百八十六門

第一百八十七門

第一百八十八門

第一百八十九門

第一百九十門

第一百九十一門

第一百九十二門

第一百九十三門

第一百九十四門

第一百九十五門

第一百九十六門

第一百九十七門

第一百九十八門

第一百九十九門

第二百門

第二百一門

第二百二門

第二百三門

第二百四門

第二百五門

第二百六門

第二百七門

第二百八門

第二百九門

第二百十門

第二百十一門

第二百十二門

第二百十三門

第二百十四門

第二百十五門

第二百十六門

第二百十七門

第二百十八門

第二百十九門

第二百二十門

第二百二十一門

第二百二十二門

海軍公報 誌錄 大正十一年四月

洋書一編

CLASS I.

U. S. Treasury Department. Annual report of the United States Coast Guard. Washington 1921.

P 252

Greece, Hungary, Kingdom of Serbs, Croats & Slovenes, Roumania, Switzerland, Turkey.
Washington 1920.

5256

CLASS VII.

American Society for Testing Materials. Proceedings of Vol. XX. 1920, Vol. XXI. 1921. Philadelphia 1920-21.

5261

CLASS VIII.

Giget, F. Le pigeon voyageur. Le sport columbophile et la columbophilie militaire. Bruxelles —.

1022

Eiffel, G. Études sur l'hélice aérienne. Faites au laboratoire d'aéronautique. Paris 1920.

990

CLASS II.

Esmein, A. Éléments de droit constitutionnel.

1020

Français et comparé. Paris 1921.

De Louther, J. Le droit international public positif. Oxford 1921. 2 vol.

1021

Marx, Karl. Das Kapital. Kritik der politischen Ökonomie. Hamburg 1921. 4 Bde.

1136

CLASS III.

Delvert, C., Capitaine. L'erreur du 16 Avril 1917. Paris 1920.

1023

CLASS IV.

Bland, J. O. P. China, Japan and Korea. London 1921.

5253

Black, W. H. The real pocket guide-book of Bulgaria, Czecho-Slovakia, Germany,

1585

海軍公報 第二千八百十八號

大正十一年三月三日

海軍大臣官房

大正十一年三月三日(金)

○令達

官房第七二三號

大正十一年三月三日

臨時海軍大臣事務管理
内閣總理大臣子爵 高橋 是清

各鎮守府司令長官殿

造機部長會議ノ件

來ル五月八日ヨリ約七日間ノ豫定ヲ以テ造機部長會議

開催候條工廠並廣文廠造機部長ヲシテ當日午前八時三

十分迄ニ本省ニ參集セシムヘシ

右訓令ス

官房第七二四號

明治四十一年二月官房第五七七號別紙原簿書式凡例第
三號中左ノ通改正シ大正十一年四月一日ヨリ施行ス

大正十一年三月三日

(各通)

○辭令

會計法規類集下巻 五五頁参照

「同一科目ニシテ品名制式同一ナルモノハ合併整理ス
ルコトヲ得」ノ次ニ「細節ヲ異ニスルモ竣工期同一ナ
ル工事亦同シ」ヲ、「附屬費ニ屬スルモノハ部毎ニ同
細節別ニ依リ口取ヲ爲スヘシ」ノ次ニ「但シ機械改造
及豫定費額千圓ヲ超ユル機械修理ノ工事ニ在リテハ別
ニ工事每ニ口取ヲ爲スヘシ」ヲ加フ

臨時海軍大臣事務管理
内閣總理大臣子爵 高橋 是清

和田 克己
井上 春直
森川 清猛
渡邊 真見
楊井 清盈

大正十一年三月三日

一八〇

折桑加德棍
原藤永河
戸亮六守正
功一郎雄雄

任海軍豫備一等機關兵曹
大正十一年三月二日
任海軍技手
給六級俸

岡田正雄

1587

任海軍豫備一等兵曹

(各通)

依願免本官 <small>(十六日)</small> 海軍省	海軍技手	山本	万治郎
歸朝ヲ命ス	海軍技手	大津	恒雄
	同	鬼塚	通正
橫須賀海軍工廠附ヲ命ス			

(各通) 海軍軍醫大佐 桑原 賢鏡
同 高宮 隆
海軍軍醫中佐 富谷 貫二
海軍豫備生徒志願者體格検査委員ヲ命ス (以上三月一日)
海軍省

○ 艦船所在

指定印

〇三月三日午前十時調

横須賀、陸奥、木曾、山城、樺名、生駒、朝日、
三笠、若宮、鳳翔、磐手、北上、阿蘇、富士、津輕、橋立、
武藏、千早、長澤風、沖風、峯風、矢風、
沙風、夕風、太刀風、帆風、秋風、灘風、羽風

島風、夕立、白露、夕暮、三日月、春風、初春、 初雪、初霜、神風、櫻、如月、吹雪、有明、追風、 疾風、瀨生、浦風、夕風、時雨、薄雲、不知火、 潜八、長潛一四、潛一五、長潛二七、潛二五、潛二六、 潛三八、長潛三九、潛四〇、潛四一、長鴻、雉、鶴、 白鷺、松江、青島、筑前丸	【西戸崎】 高崎 敷島、肥前、須磨、常磐、見島、沖島、最上、 柏、桂、梅、楓、桜、檉、柳、榆、桃、松風、白雪、 野分、般、長潛二一、潛一八、潛四五、長鷺、鶴、 雲雀、鶴、雁、蒼鷹、燕、鴿
品川沖、五十鈴、菱、蓮、 賀、大湊、檉、椿、楓、桑、 國館、滿州、吳、鞍馬、伊吹、淺間、平月、駒橋、千代田、周防、千歲、 大和、水無月、長月、菊月、日菊、葵、谷風、 江風、藤、萩、蘋、萬、竹、榧、梨、櫟、梯、栗、 榆、葦、蕨、村雨、朝霧、白雲、朝潮、陽炎、卯月、 潜一七、長潛二三、長潛二九、長潛二〇、長潛二二、 潜二四、長潛三四、長潛三六、長潛三七、長潛三四、水六七、 水六八、水七〇、水七一、能登呂、野島、劍崎、 室戸、膠州、野間	【佐世保】 安藝、薩摩、日向、長良、由良、龍田、 對馬、日進、若葉、湖、朝風、子日、海風、 山風、柏、楓、長時津風、磯風、天津風、濱風、野風、 沼風、水七三、水七二、水七四、水七五、大泊、 旅順、春日、柏、杉、松、柳、 港、綾波、磯波、浦波、 上海、南洋群島、淀、多摩丸
大坂、鶴見、加賀、長門、伊勢、大井、球磨、多摩、根 由、三田、尻、矢矧、韓崎、長潛二八、長潛二九、長潛三五	【馬公】 檉、桐、櫟、櫻、潛四二、潛四三 【新舞鶴】 鹿島香取、吾妻、筑摩、勝力、新高、 【鎮海】 春日、柏、杉、松、柳 【旅順】 關東、 【上海】 明石、宇治 【南洋群島】 伏見 【浦野】 利根 【古倫母】 知床 【重慶】 鳥羽 【上海】 閑田
【航海中】	【アムライナ】

尻矢(二月十八日横須賀發「タラカン」へ)

松山丸、泰安丸(二月二十三日横須賀發南洋へ)

佐多(二月二十七日「タラカン」發吳へ)

△出雲(二月二十八日馬公發佐世保へ)

樺葉(二月二十八日「タラカン」發吳へ)

勞山(二月二十八日横須賀發吳へ)

八雲(一日馬公發佐世保へ)

嵯峨(一日漢口發上海へ)

潛三〇(二日吳發「タラカン」へ)

洲崎(二日吳發「タラカン」へ)

○ 雜 款

○郵便物發送先

軍艦北上宛

三月五日迄到着見込ノモノハ

同 九日迄 同 橫 須 賀

其ノ後ハ

特務艦大泊宛

三月五日迄到着見込ノモノハ

同 九日迄 同 橫 須 賀

其ノ後ハ

新舞鶴
小樽郵便局留置

○軍艦北上行動豫定

地名

横須賀

三月六日

三月六日

十日

十日

○行動豫定變更

特務艦勞山ハ二月二十八日横須賀發ニ改メ以後ノ行動豫定タ二日宛線トク(一月三十一日本艦參照)

○特務艦野間行動豫定變更(一月二十七日本艦參照)

地名

吳

タラカン

マニラ

德山

横須賀

三月二十三日
三十一日
四月二日
十六日

三月十三日
二十八日

四月二日

十三日

1589

(部内限二頁)

海軍公報 第一千八百十九號

大正十一年三月四日(土)

海軍大臣官房

○通牒

大正十一年三月四日
經牒第五五三號

海軍省經理局

艦隊所屬各艦船分任由納官吏殿

經費支出現況報告ニ關スル件

歲入歲出取扱規程第四十五條ニ依ル經費支出現況報告

書作製上必要ニ付同規程十八號書式ニ依リ四月五日迄

ニ遲滞ナク右報告書提出相成度

右照會ス

經豫第八三號

大正十一年三月四日

海軍省經理局長 志佐 勝

各委任仕拂命令宣殿

豫算定額繰越請求ハ四月一日ヨリ新會計法實施ノ結果

四月三十日限ト相成候ニ付特ニ御留意ノ上四月二十日迄ニ必ス當局ニ到達スル様御取計相成度
右申造ス

○辭令

依願免本官

海軍技手 白木 宗吉

海軍監獄看守ヲ命ス

勤七等 西 正 夫

月俸四拾圓ヲ給ス

吳海軍監獄附ヲ命ス(以上請海軍省)

海軍監獄守 西 正 夫

第五部勤務ヲ命ス(請海軍贊政本部)

海軍造兵少佐 深 井 宗 吉

第三部勤務ヲ命ス(請海軍艦政本部)

海軍編修書記勤七等 板倉 貞男

海軍大學校ニ於ケル佛語教授ヲ囑託ス(請海軍教育本部)

海軍公報 第一千八百十九號 大正十一年三月四日

一八三

○艦船所在

▲印「ハセ」
指定ナ要セス

○三月四日前十時調

【横須賀】 陸奥、木曾、山城、榛名、生駒、朝日、

三笠、若宮、鳳翔、磐手、北上、阿蘇、富士、津輕、橋立、

武藏、千早、澤風、冲風、峯風、矢風、

沙風、夕風、太刀風、帆風、秋風、灘風、羽風、

島風、夕立、白露、夕暮、三日月、春風、初春、

初雪、初霜、神風、響、如月、吹雪、有明、追風、

疾風、彌生、浦風、夕風、時雨、薄雲、不知火、潛九、

潛八、呂潜一四、潛一五、呂潛二六、潛二五、潛二七、

潛三八、潛三九、潛四〇、潛四一、呂鴻、雉、鷗、

自鷹、松江、青島、筑前丸

【大坂】

加賀、潛三一、潛三二、潛三三、潛四六、

神戸、潛四七

【由宇】

長門、伊勢、金剛、鬆島、比叡、大井、

球磨、多摩

【佐世保】

日向、長良、由良、龍田、敷島、肥前、

須磨、常磐、見島、沖島、最上、楠、桂、梅、

楓、櫻、柳、榆、桃、松風、白雪、野分、霞、

楓、櫻、柳、榆、桃、松風、白雪、野分、霞、

楓、櫻、柳、榆、桃、松風、白雪、野分、霞、

蒼鷹、燕、鶴

【西戸崎】

高崎

【馬公】

櫟、桐、橘、櫻、潛四二、潛四三

【新舞鶴】

鹿島、香取、吾妻、筑摩、勝力、新高、

對馬、日進、若葉、潮、朝風、子日、海風、

山風、櫛、楓、日時津風、磯風、天津風、濱風、野風、

沼風、水七三、水七二、水七四、水七五、大泊

【鎮海】

春日、柏、杉、松、楠

【旅順】

絞波、磯波、浦波

【長崎】

土佐、名取

【馬公】

櫟、桐、橘、櫻、潛四二、潛四三

【新舞鶴】

鹿島、香取、吾妻、筑摩、勝力、新高、

對馬、日進、若葉、潮、朝風、子日、海風、

山風、櫛、楓、日時津風、磯風、天津風、濱風、野風、

沼風、水七三、水七二、水七四、水七五、大泊

【南洋群島】

春日、柏、杉、松、楠

【旅順】

絞波、磯波、浦波

【石見】

淀

第三潜水隊司令ハ本月一日司令潜水艦ヲ第二十七潜水
艦ヨリ第二十六潜水艦ニ變更セリ

關東
宇治
明石、伏見

海港
市沙

長沙

重慶

隅田

鳥羽

利根

尻矢

知床

「アムボイナ」

「タラカン」

「古倫母」

〔航海中〕

松山丸、泰安丸(二月二十三日横須賀發南洋へ)

佐多(二月二十七日「タラカン」發吳へ)

△出雲(二月二十八日馬公發佐世保へ)

襟裳(二月二十八日「タラカン」發吳へ)

八雲(一日馬公發佐世保へ)

嵯峨(一日漢口發上海へ)

潛三〇(二日吳發三田尻へ)

洲崎(二日吳發「タラカン」へ)

口安藝、薩摩(三日佐世保發寺島水道へ)

多摩丸(三日「ヤツブ」發橫須賀へ)

○雜款

○司令潛水艦變更

○事務所設置
第三潜水隊司令ハ本月一日司令潛水艦ヲ第二十七潛水
艦ヨリ第二十六潛水艦ニ變更セリ
軍艦由良艦裝員事務所ヲ佐世保海軍工廠内ニ設ク(由
良艦裝員長)

海軍公報 第二千八百二十號

大正十一年三月六日(月)

海軍大臣官房

○通牒

經豫第八九號

大正十一年三月六日

海軍省經理局長 志佐勝

各歲入徵收官殿
各委任仕拂命令官殿

計算帳簿ノ件

新會計規則實施ニ伴ヒ支出官其他ニ於テ設備ヲ要スヘキ帳簿ノ書式ハ未タ大藏省ヨリ發布セラレス其ノ時期未定ナルモ年度切迫ノ際夫々準備ノ都合モ可有之ニ付大正十一年度ハ至急ヲ要スルモノニ限り便宜左記ニ依リ準備シ置キ關係法規發布ノ上夫々正規ノ書式ニ取締ヒ使用相成度

右通知ス

追テ海軍會計規程ハ本月中旬頃發布ノ見込ニ有之候

記

海人第一七號

大正十一年三月六日

海軍公報 第二千八百二十號 大正十一年三月六日

一八七

一、新會計規則第百五十四條ノ徵收簿ハ從來ノ歲入徵收官徵收簿ト大差ナキニ付從來ノモニ依リ準備シ置クコト
二、新會計規則第三條ニ依ル歲入簿ハ大正十一年度ヨリ廢止セラルル管ニ付準備ヲ要セス
三、新會計規則第百五十六條ノ支出簿ハ書式制定ヲ俟テ設備ノコトトシ其ノ時期迄ハ計算帳簿規程第四條第一號ノ歲出簿ニ代リ大正十一年度ヨリ各支出官ニ於テ設備セシメラルヘキ支出明細簿ヲ兼用スルコト
支出来明細簿ハ右歲出簿ト略其ノ書式ヲ同シクスヘキニ付歲出簿書式ニ依リ準備シ置クコト
三、新會計規則第一百五十八條ノ現金出納簿ハ現行出納官吏現金出納簿書式ニ依リ準備シ置クコト
追テ海軍會計規程ニ依リ準備ヲ要スヘキ計算帳簿其ノ他ノ種別竝書式ハ現行ノモノト大差ナキ見込ニ付至急ヲ要スルモノニ限り右規程書式ニ依リ準備シ置キ差支無之候

海軍省人事局長 古川鉢三郎
各廳長 殿

宿所通報ニ關スル件

海軍准士官以上履歷書及身上取扱規則第十一條ニ依ル
士官及候補生ノ宿所通報方ニ就テハ常ニ同規則ヲ勵行

スル様特ニ御通達相成度

右申進ス

○艦船所在

△印△ハカク
指定期限セヌ

【大坂】 水無月、長月、菊月、谷風、日暮、秋潮、萬、日竹、
樅、梨、櫻、栗、梅、榆、芭蕉、歲、村雨、朝霧、
白雲、朝潮、陽炎、卯月、日潛一二、潛一〇、潛一二、
日潛一三、潛一六、潛一七、日潛二三、潛一九、
日潛二〇、日潛二二、潛三四、潛三六、潛三七、
潛四四、水六七、水六八、水七〇、水七一、能登呂、
野島、劍崎、室戶、膠州、野間

【大阪】 領見

【神戸】 加賀、潛三一、潛三二、潛三三、潛三四、
潛四七

【高松】 日菊、葵、江風

【由宇】 日長門、伊勢、金剛、霧島、比叡、大井、

多摩

【三田尻】 日矢矧、韓崎、日潛二八、潛二九、潛三〇、
日潛三五

【高松】 日安藝、薩摩、日出雲、八雲、日向、

佐世保

【佐世保】 日安藝、薩摩、日出雲、八雲、日向、
長良、由良、龍田、敷島、肥前、須磨、常磐、見島、
沖島、最上、日浦、桂、梅、楓、日樺、柳、榆、
桃、日松風、白雪、野分、波、日潛二一、潛二八、
潛四五、日鷺、鶴、雲雀、鶴、雁、蒼鷹、燕、鶲、
白鷗、松江、青島

【品川沖】 朝見
五十鈴、謙、達

【長崎】 土佐、名取

【馬公】	樺、桐、橘、櫻、潛四二、潛四三	筑前丸(四日横須賀發南洋へ)
【新舞鶴】	鹿島、香取、吾妻、筑摩、勝力、新高、 對馬、日進、若葉、潮、朝風、子日、 山風、櫛、楓、口時津風、磯風、天津風、演風、野風、 沼風、水七三、水七二、水七四、水七五、大泊	利根(四日「アムボイナ」發「ドボ」へ) 瀨州(五日函館發測量地へ)
【長崎】	海、春日、柏、杉、松、楠	勞山(五日德山發佐世保へ) 知床(五日古倫母發「アバダン」へ)
【旅順】	日本海、鐵道、鐵道、鐵道、鐵道	
【南洋群島】	南洋群島、南洋群島、南洋群島、南洋群島	
【浦鹽】	浦鹽、浦鹽、浦鹽、浦鹽	
【港】	港、港、港、港	
【海上】	海上、海上、海上、海上	
【漢口】	漢口、漢口、漢口、漢口	
【沙灘】	沙灘、沙灘、沙灘、沙灘	
【麥重】	麥重、麥重、麥重、麥重	
【烏羽尻】	烏羽尻、烏羽尻、烏羽尻、烏羽尻	
【開東】	開東、開東、開東、開東	
【明石】	明石、明石、明石、明石	
【宇治】	宇治、宇治、宇治、宇治	
【伏見】	伏見、伏見、伏見、伏見	
【隅田】	隅田、隅田、隅田、隅田	
【其ノ後ハ】	其ノ後ハ、其ノ後ハ、其ノ後ハ、其ノ後ハ	
○郵便物發送先	第一艦隊司令部、長門宛	
【第一艦隊司令部】	三月九日迄到著見込ノモノハ 山口縣由宇	
【同】	同二十一日迄 同 吳 神 戸	
【其ノ後ハ】	其ノ後ハ	
○軍艦阿蘇行動豫定	第一水雷戰隊司令部、天龍、第十五驅逐隊(藤、薄、 萩、萬)、第二十五驅逐隊(竹、榧、梨、櫟)、第二十六驅 逐隊(柳、榆、栗、楓)、第二十七驅逐隊(葦、蕨)宛	
【地名】	三月七日迄到著見込ノモノハ 吳	
【著】	其ノ後ハ	
【發】	山口縣三田尻	
○軍艦阿蘇行動豫定	三月二十二日	
【横須賀】	三月二十四日	
【清】		
【水】		

横須賀
清水
横須賀

二十八日
三十日
三十一日

○南洋交通船筑前丸行動豫定變更(二月二十四日本欄参照)

南洋交通船筑前丸行動豫定中横須賀發ヲ三月四日ニ改

メ以下各地著發ヲ二日宛線下ク

○南洋交通船筑前丸第六回輸送日割中左記ノ通變更ス

(二月六日本欄参照)

出港日時
三月四日午後四時
(横須賀海軍港務部)

○正誤

○昨四日辭令欄西正夫ノ官名海軍監獄守ハ海軍監獄看
守ノ誤

海軍水路中佐齋木秀本月四日死去、來七日午後二時青山齋場ニ於テ佛式ニ依リ葬儀ヲ施行ス

(版内限一頁)

海軍公報

第二千八百二十一號

大正十一年三月七日(火)

海軍大臣官房

○辭令

(各通) 一金貳千圓 故海軍三等兵曹 高橋政一郎父
右大正二年勅令第九號ニ依リ之ヲ給與ス(海軍省)

○艦船所在

▲印「ハホス」
指定期要※ス

○三月七日前十時調

【横須賀】 陸奥、木曾、山城、樺名、生駒、朝日、
三笠、若宮、鳳翔、磐手、阿蘇、富士、津輕、橋立、
武藏、千早、江澤風、沖風、紫風、矢風、
口沙風、夕風、太刀風、帆風、秋風、瀧風、羽風、
島風、口夕立、白露、夕暮、三日月、口春風、初春、
初雪、口初霜、神風、響、如月、吹雪、有明、口追風、
疾風、彌生、浦風、夕風、時雨、薄雲、不知火、口潛九、
潛八、口潛一四、潛一五、口潛二六、潛二五、潛二七、

【品川】	潜三八△、潜三九△、潜四〇、潜四一、口鴉、雉、鶲、 白鷺、松江、青島
【浦賀】	五十鈴、葵、遠
【館山】	北上
【大湊】	口櫻、椿、楓、桑
【吳】	口天龍、球磨、扶桑、攝津、鞍馬、伊吹、 淺間、平戶、駒橋、千代田、周防、千歲、大和△、 口水無月、長月、菊月、谷風、口藤、萩、薄、萬、口竹、 櫛、梨、櫟、口柳、栗梅、榆、口葦、蕨、村雨、朝霧、 白雲、朝潮、陽炎、卯月、口潛一二、潛一〇、潛一二、 口潛一三△、潛一六△、潛一七△、口潛二三、潛一九、 潛二〇、口潛二二、潛二四、潛三四、潛三六、潛三七、 潛三四、水六七、水六八、水七〇、水七一、能登呂△、 口潛一〇、口島、口野島、劍崎、室戶、膠州、野間、 口阪
【神戸】	加賀、潛三一、潛三二、潛三三、潛四六、 潛四七
【和歌ノ浦】	口菊、葵、江風
【宮島】	口大井、多摩
【由宇】	口長門、伊勢、口金剛、糸島、比叡

同十七日迄 同 德山
其ノ後ハ 神戸

○事務所設置

驅逐艦運載裝員事務所ヲ浦賀船渠株式會社浦賀工場内ニ設置シ本月二日ヨリ事務ヲ開始セリ(運載裝員長)

○出發期日變更(二月二十八日)
(本欄参照)

歐米各國ヘ出張ヲ命セラレタル海軍主計少佐野村千助ハ來三月九日午前九時東京驛發同日正午横濱川港ノ「これか」丸ニテ出發ノコトニ變更セリ

海軍軍醫學生原久米男ハ二月二十八日死去セリ

海軍公報

第二千八百二十二號

大正十一年三月八日(水)

海軍大臣官房

兼練習艦隊司令部附海軍技手關守一
水路部附海軍技手關守一
△印ハセス(以上請海軍省)

官房第七七八七號

○令達

大正十一年三月八日
大正十一年度歲出科目左ノ通追加ス

○三月八日前午時調

臨時海軍大臣事務管理
内閣總理大臣子爵高橋是清

歲出臨時部

(營繕費)	(修繕費)	款項	目	節解疏	合計科目
					電信略號
					ノユ

【横須賀】陸奥、木曾、山城、棟名、生駒、朝日、
三笠、若宮、鳳翔、磐手、阿蘇、富士、津輕、橋立、
武藏、千早、【澤風】、沖風、客風、矢風、
【沙風】、夕風、太刀風、帆風、【秋風】、灘風、羽風、
島風、【夕立】、白露、夕暮、三日月、【春風】、初春、
初雪、【初霜】、神風、櫻、如月、吹雪、有明、【追風】、
疾風、彌生、浦風、夕風、時雨、薄雲、不知火、【潛九】、
潛八、【潛一四】、潛一五、【潛二六】、潛二五、潛二七、
潛三八、【潛三九】、潛四〇、潛四一、【鴉、雉、鳴、
白鷺】、松江、青島

○辭令

海軍軍醫大尉野崎貞固
海軍豫備生徒志願者體格検査委員ヲ命ス

【品川沖】
浦館賀山北上
大湊
【大館】
賀山北上
五十鈴、菱、遠
大澤、梅、楨、榮

海軍公報
第二千八百二十二號
大正十一年三月八日

吳	天龍、瑠磨、扶桑、攝津、鞍馬、伊吹、淺間、平戶、周防、千歲、大和、日水無月、長月、菊月、谷風、日藤、萩、薄、葛、日竹、榧、梨、櫟、楓、栗、梅、榆、日草、蕨、村雨、朝霧、白雲、朝潮、陽炎、日潛一、潛一〇、潛一二、日潛一三、日潛一六、潛一七、潛二四、潛三四、潛三六、潛三七、潛三四、潛六七、潛六八、潛七〇、潛七一、能登呂、野島、劍崎、室戶、膠州、野間	對馬、日進、日若葉、潮、朝風、子日、日海風、山風、柏、榎、日時津風、磯風、天津風、濱風、野風、沼風、日水七三、水七二、水七四、水七五、大泊
【大坂】 戸	鶴見 加賀、潛三一、潛三二、潛三三、潛四六、 潜四七	【鎮】 浦
【宮島】	△大井、多摩、千代田、駒橋、卯月、 日潛二三、潛一九、潛二〇、日潛二二	【漢】 上
【由宇】	口長門、伊勢、△金剛、霧島、比叡	【漢】 下
【三田尻】	△矢矧、韓崎、日潛二八、潛二九、潛三〇、 日潛三五	【航】 海
【佐世保】	口安藝、薩摩、△山雲、八雲、日向、 長良、由良、龍田、敷島、肥前、須磨、常磐、見島、 沖島、最上、日柏、桂、梅、楓、櫻、柳、榆、 桃、日松風、白雪、野分、霞、日潛二一、潛一八、 潛四五、日鷺、鶴、雲雀、鶲、雁、蒼鷹、燕、鶲、 高崎、勞山	【海】 中
【長崎】 馬公	土佐、名取 櫛、桐、橘、櫻、潛四二、潛四三	【漢】 重
【新舞鶴】	鹿島香取、吾妻、筑摩、勝力、新高	【漢】 上
【佐多】 長良、由良、龍田、敷島、肥前、須磨、常磐、見島、 沖島、最上、日柏、桂、梅、楓、櫻、柳、榆、 桃、日松風、白雪、野分、霞、日潛二一、潛一八、 潛四五、日鷺、鶴、雲雀、鶲、雁、蒼鷹、燕、鶲、 高崎、勞山	【漢】 下	
【佐多】 佐多(二月二十七日「タラカン」發吳) 襟裳(二月二十八日「タラカン」發吳) 嵯峨(一日漢口發上海) 洲崎(二日吳發「タラカン」) 多摩丸(三日「ヤツブ」發橫須賀) 筑前丸(四日橫須賀發南洋) 利根(四日「アムボイナ」發「ドボ」) 滿州(五日函館發測量地) 知床(五日古倫母發「アバダン」)	【漢】 中	
【松山丸】 泰安丸(二月二十三日橫須賀發南洋) 佐多(二月二十七日「タラカン」發吳) 襟裳(二月二十八日「タラカン」發吳) 嵯峨(一日漢口發上海) 洲崎(二日吳發「タラカン」) 多摩丸(三日「ヤツブ」發橫須賀) 筑前丸(四日橫須賀發南洋) 利根(四日「アムボイナ」發「ドボ」) 滿州(五日函館發測量地) 知床(五日古倫母發「アバダン」)	【漢】 下	

宇治(六日上海發漢口へ)

尻矢(六日「タラカン」發德山へ)

呂菊、葵、江風(八日和歌ノ浦發吳へ)

○雜款

○郵便物發送先變更(本月七日
本欄參照)

軍艦伊勢丸

三月十六日迄到着見込ノモノハ

其ノ後ハ

神戸

○電話架設

海軍省人事局第一課長

番町四二八五番 海軍大佐 左近司政三

牛込區西五軒町四十二番地

海軍公報 第二千八百二十三號

大正十一年三月九日(木)

海軍大臣官房

○辭令

臨時南洋群島防備隊採礦所醫務囑託

自今報酬月額參百貳拾八圓ヲ給ス
太田 義平

臨時南洋群島防備隊採礦所業務囑託

自今報酬月額百八拾七圓ヲ給ス
第五部勤務ヲ命ス
〔請海軍艦政本部〕
高谷 林丘郎
海軍技手 矢野 寅久

○艦船所在

〔印「八八八」
指定期要事項〕

○三月九日午前十時調

【横須賀】 陸奥、木曾、山城、榛名、生駒、朝日、
三笠、若宮、鳳翔、磐手、阿蘇、富士、津輕、橋立、
武藏、千早、長澤風、沖風、寒風、矢風、
口沙風、夕風、太刀風、帆風、秋風、灘風、初風、
山島風、口夕立、白鷺、夕暮、三日月、口初雪、春風、

【宮】 潛二〇、口潛二一
【大坂】 鶴見
【神戸】 潜四七
【潛】 千代田、駒橋、卯月、口潛二三、潛一九、

初春、口初霜、神風、響、如月、吹雪、有明、口追風、
疾風、彌生、浦風、夕風、時雨、薄雲、不知火、口潛九、
潛八、口潛一四、潛一五、口潛二六、潛二五、潛二七、
潛三八、潛三九、潛四〇、潛四一、口鴻、雉、鷗、
白鷺、松江、青島

品川 沖

浦 賀

北上

大 渡

區

櫛、根、桑

吳

球磨、扶桑、攝津、鞍馬、伊吹、淺間、
平戶、周防、千歲、大和、口水無月、長月、菊月、

谷風、村雨、朝霧、白雲、朝潮、陽炎、口潛一一、
潛一〇、潛一二、口潛一三、偕一六、潛一七、
潛二四、潛三四、潛三六、潛三七、潛三四、水六七、
水六八、水七〇、水七一、能登呂、野島、劍崎、室戶、
膠州、野間

【由宇】 □長明、伊勢、△金剛、霧島、比叡、△大井、
多摩、△天龍、△藤、萩、薄、萬、△竹、榧、梨、櫟、
△柳、栗、柏、榆、△葦、蕨
【三田尻】 □矢矧、韓崎、△潛二八、潛二九、潛三〇、
△潛三五
【佐世保】 □出雲、八雲、日向、長良、由良、龍田、
敷島、須磨、常磐、見島、沖島、最上、△楠、桂、
梅、楓、△桺、柳、檜、桃、△松風、白雪、野分、
霞、△潛二一、潛二八、潛四五、△鷺、鴉、雲雀、
鶴、雁、蒼鷹、燕、鶴、勞山
【寺島水道】 肥前
【長崎】 土佐、名取
【馬公】 □櫟、桐、橘、櫻、△潛四二、潛四三
【新舞鶴】 鹿島香取、吾妻、筑摩、勝力、新高、
對馬、日進、△若葉、潮、朝風、子日、△海風、
山風、梢、楓、△時津風、磯風、天津風、濱風、野風、
沿風、△水七三、水七二、水七四、水七五、大泊
【鐵海】 □柏、杉、松、櫟
【珍島】 春日
【南洋群島】 □綫波、穢波、浦波
【浦鹽】 □有見
【上海】 伏見
【漢口】

【長沙】 開田
【重慶】 鳥羽
【航海中】
松山丸、泰安丸(二月二十三日横須賀發南洋)
佐多(二月二十七日「タラカン」發吳)
襟裳(二月二十八日「タラカン」發吳)
嵯峨(二日漢口發上海)
洲崎(二日吳發「タラカン」)
多摩丸(三日「ヤツブ」發橫須賀)
筑前丸(四日橫須賀發南洋)
利根(四日「アムボイナ」發「ドボ」)
瀘州(五日函館發測量地)
知床(五日古倫母發「アバダン」)
字治(六日上海發漢口)
尻矢(六日「タラカン」發德山)
高崎(八日佐世保發馬公)
○司令驅逐艦變更
○司令驅逐艦變更
第七駆逐隊司令ハ本月八日司令驅逐艦ヲ春風ヨリ初雪
ニ變更セリ

○郵便物發送先

軍艦陸奥宛

三月十三日迄到著見込ノモノハ

横須賀

其ノ後ハ第一艦隊司令部ニ同シ

○練習艦隊（出雲、八雲）行動豫定變更

地名 著

發

三月二十日
三月二十八日
四月二十五日
四月三日

佐世保
鳥羽
崎

海軍公報 第二千八百二十四號

大正十一年三月十日(金)

海軍大臣官房

許可年月日 大正十一年一月三十一日

○通牒

官房第八二三號
大正十一年三月十日

海軍省副官 松下 元

○大正十一年三月九日

任海軍技手

佐野 豊

給七級俸

坂本 音四郎

任海軍技手

坂本 音四郎

給八級俸

佐々木 専吉

○辭令

記

汽船「トロール」漁業許可證名義變更ノ件
本件ニ關シ左記ノ通農商務省水產局ヨリ通知アリタリ
右通牒ス

東京市日本橋區本町四丁目九番地日本トロール株式會社ハ同市赤坂區表町三丁目十三番地渡邊嘉一ヨリ左記

「トロール」汽船ヲ譲受ケタルニ付其ノ許可名義ヲ同社ニ變更セリ

船名	許可番號
鞍馬丸	第七五號

海軍技手 佐野 豊
横須賀海軍建築部附ヲ命ス
(各通) 同 坂本 音四郎
佐々木 專吉
海軍技手 鈴木 虎吉
海軍船政本部勤務兼造船監督助手ヲ命シ横須賀海軍工廠附ヲ命ス

海軍公報

第二千八百二十五號

大正十一年三月十一日(土)
海軍大臣官房

○辭令

東京帝國大學教授 鯨井恒太郎

海軍大學校ニ於ケル電光電力ニ關スル講演嘱託ヲ解
ク(謂海軍省)

海軍中佐 松下元

海軍省副官代理海軍大佐今村信次郎病氣引入中大佐
副官職務執行ヲ命シ置候處差免ス(謂海軍省)

○艦船所在

〔印ハヘホ〕
指定期限セス

○三月十一日午前十時調

〔横須賀〕 木曾、山城、樺名、生駒、朝日、三笠、
若宮、鳳翔、磐手、北上、阿蘇、富士、津輕、橋立、
武藏、千早、江澤風、沖風、峯風、矢風、
島風、江夕立、白露、夕暮、三日月、江初雪、春風、
初春、江初霜、神風、櫻、如月、吹雪、有明、江追風、
疾風、瀬生、浦風、夕風、時雨、薄雲、不知火、鯨、

〔区〕 潜九、潜八、江潛一四、潜一五、江潛二六、潜三五、
潜二七、潜三八、江潛三九、潜四〇、潜四一、江鴻、

〔浦〕 雉、鷗、白鷗、松江、青島、

〔大〕 貝、五十鈴、菱、遠

〔函〕 渡、江摩、椿、横、桑

〔小〕 檜、大泊

〔吳〕 口長門、伊勢、江矢矧、韓崎、扶桑、攝津、
鞍馬、伊吹、淺間、平戶、駒橋、千代田、周防、千歲、
大和、江水無月、長月、菊月、江菊、葵、江風、谷風、
村雨、朝霧、白雲、朝潮、陽炎、卯月、江潛一二、江潛一〇、
江潛一二、江潛一三、江潛一六、江潛一七、江潛二二、
江潛二四、江潛二八、江潛二九、江潛三五、江潛三〇、江潛三四、
江潛二三、江潛一九、江潛二〇、江潛三六、江潛三七、江潛四四、
江潛六七、江潛六八、江潛七〇、江潛七一、能登呂、野島、
劍崎、室戶、膠州、野間、襟裳、佐多

〔大〕 阪、鶴見

〔阪〕 加賀、江潛三一、江潛三二、江潛三三、江潛四六、
江潛四七

〔由〕 金剛、霧島、比叡、江大井、多摩、球磨
〔宇〕 天龍、江藤、萩、薄、萬、江竹、榧、梨、櫟、
〔三〕 田尻

三月十七日迄到著見込ノモノハ 佐長世保
同 二十一日迄 同
四月三日迄 同
其ノ後ハ 横須賀羽崎保

軍艦阿蘇丸
三月二十一日迄到著見込ノモノハ 橫須賀
同二十四日迄 同
同二十七日迄 同
同三十日迄 同
其ノ後ハ 横須賀水賀水賀

○締盟各國ニ於ケル禮砲答砲施行個所通報(其一)
英國ノ部中

Chatham(Amherst Fort) 及
East Tilbury(Coalhouse Fort)ヲ削除ス

○外國出張
佛國へ出張ヲ命セラレタル海軍大尉山本順平ハ來ル
三月十七日午前十時横濱發香取丸ニテ出發ノ豫定

海軍公報 第二千八百三十六號

大正十一年三月十五日(月)

海軍大臣官房

○辭令

海軍省出仕海軍大尉 中村 俊久
海軍大臣官房臨時服務ヲ解ク(接海軍大臣)

○艦船所在

▲印ハホフ
指定ヲ要セス

○三月十三日午前十時調

横須賀、陸奥、木曾、山城、樺名、生駒、朝日、三笠、
若宮、鳳翔、磐手、北上、阿蘇、富士、津輕、橋立、
武藏、千早、江津風、浦風、峯風、矢風、
江汐風、夕風、太刀風、帆風、秋風、灘風、羽風、
島風、夕立、白露、夕暮、三日月、江初雪、春風、
初春、江初霜、神風、櫻、如月、吹雪、有明、江追風、
疾風、溜生、浦風、夕風、時雨、薄雲、不知火、單、
江潛九、江潛八、江潛一四、江潛一五、江潛二六、江潛二五、
江潛三八、江潛三九、江潛四〇、江潛四一、江鴻、雄、鵠、
白鷗、松江

浦、鶴、五十鈴、夢、遠、
【別】府、江風、
【神】戸、鶴見、
【大】阪、
【神】戸、加賀、江潛三一、江潛三二、江潛三三、江潛四六、
江潛四七、青島、
【由】宇、金剛、霧島、比叡、大井、多摩、球磨、
【三】田尻、天龍、江藤、萩、薄、萬、江竹、榧、梨、櫟、
江梯、栗、梅、榆、江草、蕨、
【佐】世保、出雲、八雲、日向、長良、由良、龍田、
敷島、須磨、常磐、尾島、沖島、最上、江楠、桂、
梅、楓、江櫻、柳、檜、江松風、白雪、野分、

鳥羽、潛二七、
大湊、江櫻、椿、楓、桑

吳、鞍馬、伊吹、淺間、平戶、駒橋、千代田、周防、千歲、
大和、江水無月、長月、菊月、江菊、葵、谷風、
村雨、朝霧、白雲、朝潮、陽炎、卯月、江潛一一、江潛一〇、
江潛一二、江潛一三、江潛一六、江潛一七、江潛二二、
江潛二四、江潛二八、江潛二九、江潛三五、江潛三〇、江潛三四、
江潛二三、江潛一九、江潛二〇、江潛二一〇、江潛三六、江潛三七、江潛四四、
水六七、水六八、水七〇、水七一、能登呂、野島、
劍崎、室戸、膠州、野間、襟裳、佐多

威、口潛二、潛八、潛四五、口鷺、鶴、雲雀、
鷗、雁、蒼鶻、燕、鴟、勞山
寺島水道、肥前
長崎、上佐、名取
馬公、宇子橋、口潛四、潛四五、高崎
高雄、口檣、桐、櫻
【新舞鶴】鹿島、香取、吾妻、筑摩、勝力、新高、
對馬、日進、尾者葉、潮、朝風、子日、口海風、
山風、檜、櫻、口時津風、磯風、天津風、濱風、野風、
沼風、口水七三、水七二、水七四、水七五、
仁川、春日
旅順、口核波、磯波、浦波
南洋群島、淀、松山丸
浦鹽、△石見
港開東
上
漢長
慶沙
鳥羽

多摩丸(三日「セツブ」發横須賀へ)
第前丸(四日横須賀發南洋へ)
利根(四日「アムボイナ」發「ドボ」へ)
知床(五日古倫母發「アバダン」へ)
宇治(六日上海發漢口へ)
尻矢(六日「タラカン」發德山へ)
口安藝、薩摩(八日佐世保發寺島水道へ)
滿州(十一日函館發測量地へ)
大泊(十二日小樽發亞港へ)

○ 雜 款

○郵便物發送先
第三戰隊司令部、大井、球磨、多摩丸

三月十六日迄到著見込ノモノハ 山口縣山宇
三月二十四日迄 同 神 戸

第一水雷戰隊司令部、天龍、第十五驅逐隊(藤、溥
萩、萬)宛
三月十六日迄到著見込ノモノハ 吳

同 二十二日迄 同

其ノ後ハ 同 二十四日迄 同
第二十五驅逐隊(竹、樺、梨、樅)、第二十六驅逐隊
大阪築港

泰安丸(三月二十三日横須賀發南洋へ)
嵯峨(一日漢口發上海へ)
洲崎(二日吳發「タラカン」へ)

		(柿、楓、栗、梅)、第二十七驅逐隊(革、蕨)宛 三月十六日迄到著見込ノモノハ 山口縣三田尻
同	二十六日迄 同	吳 神 戸 大阪築港
其ノ後ハ	二十四日迄 同	芝一一七八番 海軍軍令部參謀 海軍大佐 濱野英次郎 府下青山北町七ノ一
第一遣外艦隊司令部、明石宛	本日以後	支那上海日本郵便局氣付
第三十三潛水艦宛	三月十四日以後	佐世保
軍艦滿州宛	三月二十六日迄到著見込ノモノハ	函館
其ノ後ハ		横須賀
軍艦春日宛		新舞鶴
三月二十七日以後		
○事務所撤去		
○出發期日變更(本月二日) (本稿参照)		
英國駐在仰付フレタル海軍少佐高須四郎ハ來三月二十 日		

1614

海軍公報 第二千八百一十七號

大正十一年三月十四日(火) 海軍大臣官房

○令達

輕質油運搬ニ關スル件

官房第八六五號
大正十一年度ニ於ケル造船造兵事業ニ從事スル職工ノ
平均賃錢額ヲ左ノ通定ム

大正十一年三月十四日

海軍大臣 男爵加藤友三郎

男工	(見習工) ヲ除ク	女工	(見習工) ヲ除ク	見習工	
一八〇〇		九五〇		八〇〇	
					艦本第一七九四號
					大正十一年三月十四日
					海軍艦政本部

右通知ス

一、新罐詰、運搬罐詰ノ場合 百分ノ〇、三以内
二、古罐詰ノ場合 百分ノ一以内

空中聽音器ニ關スル件

關係各廳御中

空中聽音器ハ當部第六部所掌ト定メラレ候
右通牒ス

○艦船所在

▲印ハヘ
指定期
要セス

経物第六三號
大正十一年三月十四日

海軍省經理局長 志佐勝

各經理部長戚

海軍公報 第二千八百一十七號 大正十一年三月十四日

二二五

1615

○三月廿四年前半時調

大神 **阪** **鶴見**
春四七

横須賀 本會山城、樺名、生駒、朝日、三笠、
北上、阿蘇、富士、津輕、橋立、天風

武威	平凉	固原	银川	分属
沙風	夕風	大刀風	帆風	區
島風	夕發立	白露	夕暮	三日月
初春	區初霜	神風	響	如月
疾風	蒲生	浦風	夕風	時雨
區潛九	潛八	橫潛二六	潛二五	潛三八、潛三九

良潛四	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○

吳、口長門、伊勢、矢矧、韓崎、秋榮、
攝津、鞍馬、伊吹、淺間、平月、千代田、周防、千歲、

大和、日水無月、長月、菊月、日菊、葵、谷風、
村雨、朝霧、白雲、朝潮、陽炎、卯月、日潛、一、潛、二、○

潛二七、口潛一三、潛一六、潛一七、口潛二一
潛二四、口潛二八、潛二九、口潛三五、潛三〇、潛三四

水六七、水六八、水七〇、水七一、能登呂々、野島、
劍崎、室月、膠州、襟裳、佐多

卷之三

卷之三

寺島水道
肥前

馬公 日淮四二、淮四三
高 離櫓桐櫻、高
新舞鵠 鹿鳴管取吾妻、筑巢、勝力、湖高、
詩風

對馬、日進、若葉湖、朝風、守日、阿賀音風、磯風、天津風、濱風、野風、沼風、巴水七三、水七二

旅順、綾波、鐵波、浦波
[南洋群島] 淀、松山丸

浦口鹽局△石泉總理大清官印

卷之三

卷之三

〔上漢海〕

〔長沙〕

〔重慶〕

〔鳥羽〕

〔航海中〕

泰安丸(二月二十三日横須賀發南洋へ)

嵯峨(一日漢口發上海へ)

洲崎(二日吳發「タラカン」へ)

筑前丸(四日横須賀發南洋へ)

利根(四日「アムボイナ」發「ドボ」へ)

知床(五日古倫母發「アバダン」へ)

宇治(六日上海發漢口へ)

尻矢(六日「タラカン」發德山へ)

安藝、薩摩(八日佐世保發寺島水道へ)

大泊(十二日小樽發亞港へ)

天龍、区藤、萩、薄、萬(十三日三田尻發吳へ)

橘(十三日馬公發高雄へ)

野間(十三日吳發「タラカン」へ)

〔明石
伏見〕

隅田

鳥羽

○郵便物發送先

特務艦佐多宛

三月十七日迄到著見込ノモノハ 吳

吳郵便局留置

特務艦襟裳宛

三月十八日迄到著見込ノモノハ 吳
其ノ後ハ 佐世保郵便局留置

○出發期日變更

國際聯盟陸海空軍問題常設諮詢委員會ニ於ケル帝國海軍代表者隨員仰付ヲレタル海軍中佐竹中徳太郎ハ來三月二十日午後七時三十分東京驛發二十三日神戸出港ノ香取丸ニテ赴任ノコトニ變更セリ(三月一日
(本欄参照))

佛國ヘ出張ヲ命セラレタル海軍大尉山本順平ハ來ル九日午前十時横濱發ニ變更セリ(三月十一日
(本欄参照))

○ 雜 款

海軍公報 第二千八百一十八號

大正十一年三月十五日(水)

海軍大臣官房

○令達

官房第八八五號

大正九年九月官房第三三九一號赴任手當ノ件中「旅費ヲ削ル」

官房第八八三號

二等運賃ヲ二階級ニ區分スル臺灣航路ノ汽船ニ乘船スル者ノ運賃ハ旅費等級六等ノ者ニハ上級、七、八等ノ者ニハ下級ノ額ヲ支給ス

大正十年官房第二〇二〇號ハ之ヲ廢止ス

大正十一年三月十五日
海軍大臣 男爵 加藤友三郎

官房第八八六號

大正九年九月官房第三三九二號移轉料ノ件中左ノ通改

本令ハ大正十年九月一日ヨリ之ヲ適用ス

大正十一年三月十五日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

表中「臺灣、支那」ヲ「臺灣」ニ改メ同表ニ左ノ一號

ヲ加フ
二、内地、朝鮮、樺太額ハ該地相互間及内地、朝鮮又ハ
樺太内ノ移轉ニ、臺灣額ハ臺灣ト内地、朝鮮又ハ
樺太間及臺灣内ノ移轉ニ付之ヲ支給ス

官房第八八四號

楊子江航行ノ汽船ニ乘船スル者ノ船賃ハ特等ヲ一等、
官船ヲ二等ト看做シヲ之ヲ計算ス但シ同一等級ノ運賃
ヲ二階級ニ區分スル場合ニ在リテハ特等ニ付テハ旅費
等級五等以上ノ者ハ上級、官船ニ付テハ總テ上級トス

大正十一年三月十五日
海軍大臣 男爵 加藤友三郎

官房第八八七號

大正九年官房第三三九五號家族移轉料支給停止ノ件中
左ノ通改正ス

大正十一年三月十五日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

第一項中「海軍内國旅費規則第六條ノ規定ニ拘ラス」

第一項第八號ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ外國ニ妻子ヲ隨伴スル場合ヲ除ク

第一項第十三號及第二項中「又ハ文那」ヲ「南洋群島又ハ關東州」ニ改ム

官房第八八八號

左記令達ハ大正十一年八月三十一日限り之ヲ廢止ス

大正十一年三月十五日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

一、明治三十一年官房第二五七〇號外國旅費支度料支
給内規
上、大正四年官房第四〇〇二號外國派遣職工人夫ノ日
當、客食料、食卓料、支度料ノ件

(參)

○辭令

海軍少佐 羽仁潔

靖國神社祭典掛ヲ命ス
海軍武功調査委員ヲ命ス
大正三年乃至九年戰役從軍記章授與調查委員ヲ命ス
(昭和海軍省)

第二課勤務ヲ命ス(昭和海軍省人事局)

○艦船所在

海軍少佐 羽仁潔

○三月十五日前午時刻

【横須賀】木曾、山城、樺名、生駒、朝日、三笠、若宮、鳳翔、磐手、北上、阿蘇、富士、津輕、橋立、武藏、千早、呂淨風、沖風、暴風、矢風、沙風、夕風、太刀風、帆風、露秋風、灘風、羽風、

〔重慶〕
〔タラカン〕

鳥羽
洲崎

〔航海中〕

泰安丸(二月二十三日横須賀發南洋へ)

嵯峨(一日漢口發上海へ)

筑前丸(四日横須賀發南洋へ)

利根(四日「アムボイナ」發「ドボ」へ)

知床(五日古倫母發「アバダン」へ)

宇治(六日上海發漢口へ)

尻矢(六日「タラカン」發德山へ)

安藝、薩摩(八日佐世保發寺島水道へ)

大泊(十二日小倉發亞港へ)

野間(十三日吳發「タラカン」へ)

陸奥(十四日横須賀發吳へ)

江風(十四日三津濱發吳へ)

潛二七(十四日鳥羽發大阪へ)

○ 雜款

○驅逐艦進水
東京石川島造船所ニ於テ建造ノ驅逐艦達三月十四日午後五時進水セリ

○郵便物發送先變更(本編参照)
大阪藤永田造船所ニ於テ建造ノ驅逐艦麥三月十五日午前八時三十分進水セリ
第一水雷戰隊司令部、天龍、第十五驅逐隊(藤、薄、萩、葛)宛

當分ノ内

吳

(附錄一校、部內限一頁)

1622

大正十一年海軍生徒用試驗割表

1623

海軍公報 第一千八百二十九號

大正十一年三月十六日

海軍大臣官房

海軍省經理局長 岡田啓介
志佐勝

各關係廳長殿

共濟組合政府給與金支出方ニ關スル件

毎年三月二十一日以後ノ三月分職工給料ニ對スル共濟組合政府給與金ノ支出方ニ關シテハ從來其ノ取扱區々ニ相成居候モ三月二十一日以後ノ給料ハ四月分給料ニ併算シ之ニ對シテ政府給與金ヲ算出支出スルコトニ一定致シ度

右通牒ス

○ 艦船所在

△印ハ「
木曾、山城、樺名、生駒、朝日、三笠、若宮、鳳翔、磐手、北上、阿蘇、富士、津輕、橋立、武藏、千早、江澤風、沖風、峯風、矢風、江夕風、沙風、太刀風、帆風、秋風、灘風、羽風、島風、江夕立、白露、夕暮、三日月、江初雪、春風、

○ 三月十六日前十時調

款	項	目	節	解	疏	會計科目
(海軍燃料費)	(事業費)	(補修物)				
		△營造物買				
		△收				
						ミム

款	項	目	節	解	疏	會計科目
(海軍燃料費)	(事業費)	(補修物)				
		△營造物買				
		△收				
						ミム

款	項	目	節	解	疏	會計科目
(海軍燃料費)	(事業費)	(補修物)				
		△營造物買				
		△收				
						ミム

款	項	目	節	解	疏	會計科目
(海軍燃料費)	(事業費)	(補修物)				
		△營造物買				
		△收				
						ミム

款	項	目	節	解	疏	會計科目
(海軍燃料費)	(事業費)	(補修物)				
		△營造物買				
		△收				
						ミム

款	項	目	節	解	疏	會計科目
(海軍燃料費)	(事業費)	(補修物)				
		△營造物買				
		△收				
						ミム

款	項	目	節	解	疏	會計科目
(海軍燃料費)	(事業費)	(補修物)				
		△營造物買				
		△收				
						ミム

款	項	目	節	解	疏	會計科目
(海軍燃料費)	(事業費)	(補修物)				
		△營造物買				
		△收				
						ミム

款	項	目	節	解	疏	會計科目
(海軍燃料費)	(事業費)	(補修物)				
		△營造物買				
		△收				
						ミム

款	項	目	節	解	疏	會計科目
(海軍燃料費)	(事業費)	(補修物)				
		△營造物買				
		△收				
						ミム

款	項	目	節	解	疏	會計科目
(海軍燃料費)	(事業費)	(補修物)				
		△營造物買				
		△收				
						ミム

款	項	目	節	解	疏	會計科目
(海軍燃料費)	(事業費)	(補修物)				
		△營造物買				
		△收				
						ミム

款	項	目	節	解	疏	會計科目
(海軍燃料費)	(事業費)	(補修物)				
		△營造物買				
		△收				
						ミム

款	項	目	節	解	疏	會計科目
(海軍燃料費)	(事業費)	(補修物)				
		△營造物買				
		△收				
						ミム

款	項	目	節	解	疏	會計科目
(海軍燃料費)	(事業費)	(補修物)				
		△營造物買				
		△收				
						ミム

款	項	目	節	解	疏	會計科目
(海軍燃料費)	(事業費)	(補修物)				
		△營造物買				
		△收				
						ミム

款	項	目	節	解	疏	會計科目
(海軍燃料費)	(事業費)	(補修物)				
		△營造物買				
		△收				
						ミム

款	項	目	節	解	疏	會計科目
(海軍燃料費)	(事業費)	(補修物)				
		△營造物買				
		△收				
						ミム

款	項	目	節	解	疏	會計科目
(海軍燃料費)	(事業費)	(補修物)				
		△營造物買				
		△收				
						ミム

<

【航海中】

H. I. J. M. S. "Kamo"

New York ShipBuilding Corporation

Camden, New Jersey.

U. S. A.

泰安丸(二月二十三日横須賀發南洋へ)
嵯峨(一日漢口發上海へ)

筑前丸(四日横須賀發南洋へ)

利根(四日「アムボイナ」發「ドボ」へ)

知床(五日古倫母發「アバダン」へ)

宇治(六日上海發漢口へ)

尻矢(六日「タラカン」發德山へ)

安藝、薩摩(八日佐世保發寺島水道へ)

野間(十三日吳發「タラカン」へ)

陸奥(十四日橫須賀發吳へ)

△明石(十五日上海發鎮江へ)

滿州(十五日函館發測量地へ)

△海風、山風、櫓、櫻(十五日七尾發二見へ)

○雜款

○正誤
海軍士官名簿中海軍少佐山本松四及同江口喜八職名ノ
下ニ孰モ心得ノ二字ヲ脱ス

1625

○司令驅逐艦變更
第三驅逐隊司令ハ本月十五日司令驅逐艦ヲ汐風ヨリタ
風ニ變更セリ

○事務所
米國ニ於テ建造中ノ特務艦神威號裝員事務所ヲ左記ニ
於テ二月九日ヨリ開始ス

海軍公報 第二千八百二十九號

大正十一年三月十六日

(部内限ナシ)

一一五

海軍公報 第二千八百三十號

大正十一年三月十七日(金)

海軍大臣官房

○令達

親任官、勅任官同待遇

官房第九二六號
四月一日以降南洋應ノ用務ヲ以テ海軍ヨリ南洋無線電
信所ニ出張スルモノニ要スル經費ハ横須賀海軍經理部
ノ所掌トス

本令ハ四月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正十一年三月十七日

官房第九二七號

海軍大臣 男爵 加藤友三郎
官房第九二七號
左ノ通心得ヘシ

大正十一年三月十七日

來ル二十日春季皇靈祭同神殿祭ニ付在京諸官ハ當日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎
大正十一年三月十七日

本件ニ關シテハ從來區々ニ解釋セラレ居候處今般左記
内國駐在監督官同助手並内國私立造船所
建造ノ艦船艤裝ニ從事スル艤裝員長以下
轉勤ノ際赴任ニ關スル件
ノ通一定致候御承知相成度

○通牒

艦本第一九二〇號

昭和三年艦本第一九二〇號
一月十五日自於消滅

自然
消滅

大正十一年三月十七日

海軍艦政本部長 岡田啓介

各廳長殿

本件ニ關シテハ從來區々ニ解釋セラレ居候處今般左記
内國駐在監督官同助手並内國私立造船所
建造ノ艦船艤裝ニ從事スル艤裝員長以下
轉勤ノ際赴任ニ關スル件
ノ通一定致候御承知相成度

海軍公報 第二千八百三十號 大正十一年三月十七日

二二七

1626

右通牒ス

記

一、内國駐在監督官及同助手新補又ハ轉出ノ場合ニ
在リテハ特ニ通牒ナキ限リ一應當部ニ出頭セシ
メラレ度

但シ監督官ヨリ他ニ轉出ノ場合ニ在リテハ後繼
者ニ事務引継ヲ了シタル後出頭スルヲ例トス
二、内國私立造船所建造ノ艦船儀裝ニ從事スル儀裝
員長以下新補又ハ轉出ノ場合ニ在リテハ特ニ通

牒ナキ限リ該艦船建造地又ハ新任地ニ向ケ直接
赴任セシメラレ度
但シ在東京造船所建造ノ艦船ニ於ケル儀裝員長
ハ二應當部ニ出頭スルヲ例トス

○艦船所在

▲印ハ「ハホフ」
指定期限要セス

○三月十七日午前十時調

【横須賀】 山城、榛名、生駒、朝日、三笠、若宮、
鳳翔、磐手、北上、阿蘇、富士、津輕、橋立、武藏、
千早、江澤風、沖風、峯風、矢風、江夕風、
汐風、太刀風、帆風、秋風、灘風、羽風、島風、
江夕立、白露、夕暮、三日月、江初雪、春風、初春、
江初霜、神風、響、如月、吹雪、有明、江追風、疾風、
彌生、浦風、夕風、時雨、薄雲、不知火、童、江潛九、

潜八、昌潛十四、潜十五、昌潛十六、潜二五、潜三八、
潜三九、潜四〇、潜四一、昌鴻、雉、鶴、白鷺、松江、
【石川島】 舟賀、五十鈴、菱、遠、多摩九、
【大湊】 北櫻、椿、楓、桑

【大

吳

【大

扶桑

【大

水無月

【大

長門

【大

伊勢

【大

陸奥

【大

天龍

【大

矢矧

【大

韓崎

【大

周防

【大

千代田

【大

平戸

【大

平間

【大

平戸

【大

千代田

【大

周防

【大

千代田

徳山 二十三日 二十八日
舞鶴 三十日 六月八日
タラカン 六月二十日 二十五日
徳山 七月五日

○事務所設置
第四十六潜水艦裝員事務所ヲ神戸市和田岬三菱造船
株式會社神戸造船所内ニ設置セリ (四月十一日)
第四十六潜水
艦裝員長)

○滯在地變更
海軍少佐高崎武雄ハ吳ヨリ東京ヘ滯在地變更ノ儀三月

十五日認許セラレタリ

(號外十二頁、部内限ナシ)